

／ 広報武雄、ここが変わりました ／

より見やすく、より伝える市報を目指して、紙面のデザインを見直しました！
皆さまの目線に立ち、親しみを感じていただける市報づくりに取り組んでいきます。

TAKEO NEWS P7～8

視線の流れに変化をつけることで、楽しく読み進められるような紙面にしました。また、内容がより伝わるよう、写真を大きく配置しました。

市からのお知らせ P13～18

必要な情報を見つけやすく配置し、一目で要点が確認できるよう見直しました。

お誕生日キッズ募集 P28

今月号から新たにスタートする新企画です！
皆さまにご参加いただける、親しみのあるコーナーとしてお届けしていきます。

紙面デザイン

使用するカラーを抑え、フォントを統一。
背景は白を基調とし、すっきりとした見やすいデザインに改善しました。

市報へのご意見やご感想をお待ちしています。お気軽に下記までご連絡ください。

お問合せ 秘書広報課 ☎0954-23-9121 メール:kouhou@city.takeo.lg.jp

TAKEO

広報武雄 No.242 2026年4月号

CONTENTS

特集 地域から愛される武雄の農作物 …… 02

ニュース

竹細工とお茶を楽しむたけめぐりバスツアー ほか …… 07

武雄市制施行20周年記念式典

市役所の組織が変わります ほか …… 09

【暮らし情報】

固定資産税の縦覧を始めました ほか …… 13

【健康・福祉・子育て情報】

福祉タクシー利用助成券交付のお知らせ ほか …… 14

【まちづくり情報】

武雄市産業支援制度説明会&相談会 ほか …… 17

【文化・スポーツ情報】

山内中央公園プールが完成しました ほか …… 18

おたんじょうおめでとう …… 28

表紙写真：市制施行20周年記念式典の様子
(詳細は9ページ)



市長だより

先月、武雄市立の小中学校であわせて813人が卒業しました。毎年、卒業式であいさつをするときに、自分のなかで決めていることがあります。ひとつは、子どもたちの顔をみて話すこと。もうひとつは、威勢のいい言葉話さないこと。「夢を実現しよう」「目標に向かって頑張ろう」といった内容は、とても励みになるいい話ですが、ぼくはたとえ全員の胸に刺さらずとも、今なにかに悩んだり、迷っている人がいれば、その背中をさっと押すような話をしようと思うようになりました。それは、当時ぼく自身がそういう子どもだったからでしょうし、たぶん、今のぼくが昔のぼくに語りかけているのかも知れません。今年の卒業式でぼくは、中学時代に友人を裏切ったこと、でもそれがあったから高校のときに勇気を抜いて友人をかばったこと、だから、悩んだり悲しんだりのことがあっても、中学校の1000日、無駄な日は一日もないと思う、という話をしました。

先日、33歳でひびり出版社を立ち上げ、丁寧に本作りを続ける島田潤一郎さんのエッセイ本『古くてあたらしい仕事』を読みました。そこにこんな言葉がありました。“ぼくが息子に望むのは、立身出世ではなく、社会的な成功でもなく、身の回りの人を助けられる人になってほしいということだ。学校に行き、落ち込んでいるクラスメートがいたら、その人のそばにいてほしい。会社に行き、なにかに思い悩んでいる人がいたら、その人を食事に誘ってあげてほしい。そういう大人になってほしい。”
ああ、いいメッセージだなあと思いました。これを聞いた息子さんはきっと大人を信頼して育つでしょうし、それもこんな話ができるのも、島田さんが息子さんを信じているから。大人が子どもを信頼すれば、未来はいつでも明るい。今月は入学式。少し早いですが、みなさん入学おめでとう。 武雄市長 小松公政